

## 行仙宿巡回整備(管理棟の毛布干しなど)

◇実施日：2016年09月11日(日) 晴時々曇

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、川島 功、畑林清子、

生熊千満子。 5名。

8月28日から台風の影響により雨天順延して来たが、本日も午後から雨の予報であり、天候を勘案して8時発とした。

早朝より天候も良く沖崎車で走行。四ノ川林道の奥で法面工事等の為、業者の出入りで地道林道の路面は良く整備されている。

最初の広いカーブ地点に三重ナンバーの車が約十数台駐車されている、何処へ登っているのだろうか？ 登山口に着くと上部で話し声がする。

畑林・生熊さんは四国・石鎚山のトレイニングで昨日、紀宝町・大烏帽子山へ登り、今日もトレイニングを兼ねて参加との事から全員モノレールを使わず徒歩で登る。

モノレールの軽油・潤滑油を入れる既存箱の蓋がトタンのため危ないと、大江徳子さん寄贈のコンテナ収納箱に取り替える。

佐田ノ辻に登るとHOMOUNTEN一行約35名がベンチ等で休憩されていた。行仙岳に登り白谷トンネル東口へ下山のために、四ノ川林道に駐車したとのこと。

内山氏は、青木さんに世話になったので宜しく伝えて欲しいと託る。又、山川氏から、新宮山彦ぐるーぷに入会したいとの嬉しい話があり大歓迎だと名刺を渡す。

行仙岳へ登るHOMOUNTENの会を見送り、雲間から青空も見え、管理棟の毛布を干すことにする。ロープを張っただけでは干せず、管理棟の屋根に干そうと玄関側屋根に梯子を掛け、毛布を放り上げて貰い、川島が本屋根で毛布を干していると、左上腕部が突然痛い、アブかと叩くとスズメバチであった。

玄関屋根上の本屋根軒下からスズメバチが数十四湧き出している、しゃがみこみ、そりそりと屋根上で巣を離れる様に移動したが、興奮したスズメバチが飛び交い左足・頭を2箇所刺される。下に居た沖崎氏も頭に1箇所刺される。

梯子を北側に移動して毛布を干して降り、食料を冷やしていた保冷材で患部を冷やす。常備救急箱には、虫刺され処置の薬が無く今後補充したい。

この間に、畑林さんは行者堂のシキビ・盆菓子を替える。又、畑林・生熊さんは、行仙宿・毛布棚の毛布の間に防虫剤を挟んで下さる。



昼食中



管理棟の毛布干し



本日の参加者

早目の昼食とし、休憩していると小屋内にもスズメバチが3匹入ってくる。

昼食も終り、川島は干せなかった毛布を長い垂木で屋根から降ろして干す。管理棟玄関前で、スズメバチの巣の場所を確認のため、じつりと観察していると、突然飛翔中のスズメバチが左睫毛辺りに体当たりされ刺される。

早めに毛布を収納する事になり、川島が屋根上の毛布を落して沖崎・濱野氏が管理棟内に運び、畑林・生熊さんが畳んで収納。毛布を降ろして、川島は小屋で休んでいる間に、毛布をたたん

でいた畑林さん(左頬)、ロープを回収する作業中に沖崎(右手甲)・濱野(首)氏が、各一ヶ所刺される。

蜂に刺された事もあり早々に下山のため、室内の後片付けと戸締りをして下山する。

一番弱い所を刺された川島は、お岩さん見たいに腫れこみ、右目片方で下山する。畑林さんは2日後に大きく腫れ医者へ。

10 マウンテン会の車は、登頂を終え無かった。

次回には、ハチジェット等で、スズメバチの巣を撤去する必要がある。

### 行動タイム

新宮7:55→9:25行仙宿登山口9:35→10:25行仙宿→10:40毛布干し  
→11:20昼食→12:20毛布収納→行仙宿12:45→13:15行仙宿登山口  
13:20→14:50新宮。

(記:川島)